



松本きみ

活動報告
令和6年
冬号

令和6年1月発行 第3号

日々の活動



川越まつりで「小学生の山車曳き廻し体験」を市内の小学生の皆さんと行いました。自分の町内に山車がない子も身近でお囃子の音を聴きながら貴重な体験をしました。



川越市総合防災訓練が川越総合卸売市場、大東西中、大東西小で行われました。避難所の段ボール仕切りスペースを体験しました。大人2人でも窮屈に感じました。最大5か月間この空間での生活は本当に大変です。災害時への対策はこれからも課題がたくさんあります。



八戸市全国都市開発会議に参加しました。基調講演を聞き、市の活性化に向けた取り組みを勉強してきました。



小江戸・こども支援推進協議会の発達に特性のある子の子育てについての市民公開講座が埼玉医科大学総合医療センター小児科は松聖悟教授のもと南双葉幼稚園にて開催されました。貴重な意見の交換ができました。

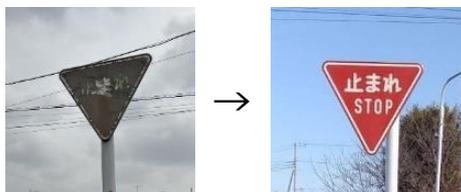


川越市児童センターこどもの城で行われたプレーパークを視察してきました。民間の方や市の職員の皆さんの協力があり、のびのびと遊ぶ子どもたちの姿を見ることができました。



武蔵野の落ち葉堆肥農法の世界農業遺産認定記念式典に参加しました。江戸時代から360年の伝統農法が令和5年7月5日にFAO(国連食糧農業機関)から世界農業遺産に認定されました。

改善の記録



藤倉2丁目。標識が見づらく、近くに幼稚園もあり危険。



県道114号川越越生線、大東西小近く。蜂が出たり、視界も悪かったりと子どもたちの安全が確保できない。



川越狭山工業団地内。葉がミラーを隠して見づらい。

以前の一般質問のその後の取り組みについて

内容

子育て支援施設の情報共有について…令和5年第3回定例会（6月定例会）
幼稚園の窓口が県にあるため、幼稚園の情報が市を通して入りづらい状況にある。子育て世代の方からも幼稚園の情報が分からず、預ける場所の選択肢が1択になっている状況や、幼稚園の廃業が進む中、市と連携を取れる部分があると思い一般質問をした。

その後の取り組み

→市として幼稚園の情報の提供を進めることとなり、各幼稚園に調査を行い、ホームページの改善を行っている。

★一般質問（一部抜粋）

発達に特性のある未就学児の支援と、現場との連携について

▶一般質問をした理由

発達に特性があることで入園を拒否され、専門機関に何度も相談したが、どの施設ともつながることができなかった経験をした方より相談を受けた。市にある施設との効果的な連携を取るためにはどのようにすればいいのかを伺いたい。

Q1 発達に特性のある子に係る保護者や通園施設からの相談窓口はどこか。

A1 保護者からの相談窓口は、主に児童発達支援センターと健康づくり支援課において対応している。保育所や幼稚園などの通園施設から発達に特性のある子の保育や教育などの相談窓口は、療育支援課で対応しており、所属職員が直接通園施設を巡回し、児童や保育士などの様子を観察し、支援方法に関する相談に応じ、必要な助言を行う「巡回相談」を実施している。【療育支援課】

Q2 通園施設に対する支援体制として主にどのようなことを取り組んでいるか。

A2 公立保育所へは、保育コンシェルジュや公立保育所の園長経験者が定期的に巡回し、保育士に対し、子どもの保育に関する関わり方や、保護者への対応など、さまざまな相談に対してアドバイスをを行う「巡回支援」を実施している。なお、加配が必要な児童については、臨床発達心理士などの専門職が保育所を巡回し、担任保育士から障害を抱える子どもの接し方や、保護者への対応などの相談を受ける「巡回指導」を行っている。民間保育所や私立幼稚園などへは、作業療法士の資格を有する療育支援課の職員が施設を巡回する「巡回相談」を実施している。また、保育施設に勤務する保育士の職員研修を実施している。【保育課・療育支援課】

Q3 早期発見、早期療養に向けた児童発達支援センターにおける取り組みはどのように行われているか。

A3 早期発見については、市で実施する乳幼児健康診査をはじめ、保育所や幼稚園での集団生活、医療機関への受診など、様々なケースが考えられる。また、早期の発見から早期の支援につなげるためには、相談支援体制の充実と関係機関の連携が重要であると考えている。児童発達支援センターでは、リーフレットを活用して児童発達支援センターの周知を行うとともに、丁寧な相談対応による保護者との信頼関係の構築と関係機関との顔の見える連携体制に努めている。【療育支援課】

Q4 発達に特性のある子に係る保護者への支援がより効果的に活用されるためにはどのような方法が考えられるか。

A4 保護者からの相談窓口や施設で実施している事業に関し、情報が伝わっていないケースがあることも承知している。このため、ホームページやSNSなどでの情報発信力をさらに強化し、多くの方が気軽に情報にアクセスでき、相談や支援につながるよう努めたいと考えている。【療育支援課】

Q5 発達に特性のある子に対する支援として、今後、児童発達支援センターとして行っていく取り組みについて伺いたい。

A5 令和4年6月の改正児童福祉法の動きも踏まえ、発達に特性のある子などが適切な支援につながるよう、地域における中核的役割を果たすことが児童発達支援センターの役割の一つとして重要であると考えている。このため、幅広い高度な専門性に基づく発達支援、家族支援、相談事業を継続するとともに、保育所や幼稚園、児童発達支援事業所などとの連携を強化し、地域全体の支援の質の向上に取り組んでいきたいと考えている。【療育支援課】

▶感想

市内には複数の子育て支援窓口が存在していますが、その情報が市民や幼稚園、保育園関係者に十分伝わっておらず、窓口の明確化が不足している。今後はこれらの情報を広く周知し、子育て支援の仕組みをより透明で分かりやすくする取り組みが必要だと思う。

★追加提出議案(第97号) 令和5年度川越市一般会計補正予算(第6号)

「公立保育所における食材価格等の高騰に伴う給食の質や量の確保に係る賄材料費の追加計上」を行いました。

※一般質問とは⇒市議会議員が市民の関心事や市政に対する問題を提起し、

市長や市政府の担当者に対して回答を求めること。市民の声を反映させる重要な機会。

令和5年第5回定例会(12月定例会)の動画をご覧になりたい方はこちらのQRコードを読み込むか、
“川越市ホームページ>川越市議会>議会議録”よりご覧ください。

令和5年第4回定例会(9月定例会)の議事録をご閲覧される方はこちらのQRコードを読み込むか、
“川越市ホームページ>川越市議会>会議録検索”よりご覧ください。



松本きみプロフィール

- ・川越市南大塚在住 ・昭和55年4月13日生 2児の母
- ・文京学院大学卒 在学中に保育士・幼稚園教諭資格を取得
- ・川越市内の南双葉幼稚園に勤務後、市内の保育園にて主任保育士、園長を務める。

【所属】小江戸・子ども支援推進協議会アドバイザー/
川越きもの日実行委員/NPO 法人川越おかみさん会理事

喜びの声 子育て支援の会

Tel : 080-6285-5593

Mail : yorokobi@kimi-matsumoto.com



◇松本きみ公式HP

<https://kimi-matsumoto.com/>